



広島国際学院  
創立79年



中学校軟式野球大会にて  
(’05.12.11)

中学校軟式野球大会を開催!

特集 卒業研究 .....	2-3
自動車廃オイル・不凍液の高温ガス化 工学部 .....	4
IT社会の可能性を探る 情報学部 .....	5
学業・課外活動・張り切る学生たち 現代社会学部 .....	6
環境にも家計にもやさしい運動とは? 短期大学部 .....	7
高校から発信 .....	8-9
平成17年度本学院学生生徒の活躍 .....	10
留学生の声 .....	11
私の大学生活 .....	11
研究室・大学院生の研究紹介 .....	12-13
平成17年度大学進路状況 .....	14
平成17年度短大・高校進路状況 .....	15
第2回中学校軟式野球大会 .....	16
学生時代の想い出と社会人になって思うこと .....	16

広 報

第65号

平成18年4月1日発行

URL <http://www.hkg.ac.jp/>



# 卒業研究

学生にとって4年間の集大成とも言うべき卒業論文。本学では一部の論文発表を公開し、研究の成果を学外の方々にも知っていただくきっかけにしています。去る2月18日(土)には、工学部と現代社会学部がそれぞれ中野キャンパスと立町キャンパスにおいて卒業論文発表会を開催しました。「騒音」「インターネット」「子育て」「ニート」など、分野の違いこそあれ、現代的な諸問題を若い感性でとらえ、深い考察と試行錯誤の末にまとめ上げられた論文は、いずれも示唆に富む内容となっています。学生たちの努力の跡を一覧にしましたのでご覧ください。

## 【工学部】



卒業研究発表(工学部)

中野キャンパス10号館のマルチメディア教室において、第5回「高校生のための卒業研究発表会」が開催されました。卒業研究は、4年間の大学生生活の締めくくりとして、これまで学んだ専門知識を総動員して、計画、実施、取りまとめまでの一連の研究手順を学ぶものです。工学部では4年生の必修科目として全学生が取り組んでおりましたが、この発表会では各学科を代表して8研究グループが登場しました。

下に示すプログラムに見られるように、それぞれの発表テーマは各学科の特徴を表しております。その中で、Visual Basicを用いて初心者用のオセロゲームを作成した「高齢者向けゲームソフトの開発」、地球温暖化対策の一つとして期待されているバイオエタノール自動車の開発を狙った「アルミニウム押出型材を適用したカートフレームの開発」など、最近のキーワードである情報化社会、高齢化社会、環境

問題などを反映した興味あるテーマも見受けられました。

それぞれの発表はパワーポイントを駆使し、中には実演も交え、各学科の代表として胸を張って発表し、その後の質疑も4年生らしい受け答えでした。各学科内でも発表会は行われていますが、このような学部全体での経験は、社会に出てからの大きな自信になるものと期待されます。

題 目	学科名(研究室)	発表者	出身校
広島空港における風雑音の観測と解析	電気工学科(高桑)	下地 英之	如水館 (広島)
		楠戸 彰人	倉敷工業 (岡山)
		田中 良幸	水島工業 (岡山)
高齢者向けゲームソフトの開発	電気工学科(西村)	山崎 俊享	広島工業大学 (広島)
		谷川 義皓	広島県瀬戸内 (広島)
PIC マイコンを使用した自立走行型ロボットの製作	メディア情報通信学科(松尾)	平野 竜司	広島国際学院 (広島)
		安部 敦	広島国際学院 (広島)
		池田 誠一	広島国際学院 (広島)
		岩中 隆明	岩国総合 (山口)
		下元 宏貴	市立広島工業 (広島)
		曾利 佳輝	香川県藤井 (香川)
横山 明広	宮島工業 (広島)		

自転車用タコメーターの試作	メディア情報通信学科 (佐伯)	藤原 雄介	市立広島工業 (広島)
		樋川 正樹	宮島工業 (広島)
		三原 啓輔	広島国際学院 (広島)
		長原 靖典	広島国際学院 (広島)
アルミニウム押出型材を適用した カートフレームの開発	機械工学科 (内海)	香西 宣輔	関西 (岡山)
三菱製ハブの疲労強度評価	機械工学科 (元家)	西本 大真	安芸府中 (広島)
		福永 康弘	広島国際学院 (広島)
		湯浅 陽介	宮島工業 (広島)
インターネットにおける 通信アプリケーションの開発	情報工学科 (趙)	梶田 真吾	広島県尾道 (広島)
画像処理による 入室管理システムの研究	情報工学科 (南)	福岡 弘規	下松 (山口)
		柳川 知彦	市立広島工業 (広島)

### 【現代社会学部】

現代社会学部では立町キャンパスで卒業論文発表会を開催しました。発表者は8人で、一人あたり15分、全体で2時間半というのは、普段のキャンパスにはない緊張感が漂うなかでの充実したプログラムでした。

発表者は前日までに原稿やパワーポイントなど資料を作成し、発表も入念に練習していました。当日も朝から事前の準備と最終の練習をするなど、準備万端で本番を迎えました。

発表テーマは前半の「認知症ケア」「共生社会論」「子育て支援」「ニート問題」という社会問題を扱ったものと、後半の「ファッションブランド」「本学のブランド戦略」「バスケット」「広島新球場」という若者文化をターゲットにしたもので、構成としてもおもしろいものになりました。

それぞれ初めての場で不安を持っての発表でしたが、ほぼ時間通りに発表を終えることができました。フロアからは教員だけでなく学生からも厳しい質問が出されましたが、今後の課題にするということも含めて的確に答えていました。卒業生にとり、大学生活の集大成としての卒論作成とその発表は、まさに社会への第一歩です。この経験を大いに生かし社会人として活躍していただきたいと思います。



卒業研究発表(現代社会学部)

題 目	研究室	発表者	出身校
認知症ケアの歴史の変遷	田中	後藤 伸行	安芸南 (広島)
「共生社会」論 －障害者と健常者をこえて 新しい社会をつくるための一考察－	目黒	瀬戸口潤之介	音戸 (広島)
現代の子育てに関する考察 －求められている支援の形－	磯部	山下 愛	防府 (山口)
現代ニート考	谷口	渡邊 幸一	市立広島工業 (広島)
若者の高級ブランド志向について	中川	池田 聡史	松山城南 (愛媛)
広島国際学院大学のブランド戦略 －入れる大学から入りたい大学へ－	迫	田中 康博	市立広島工業 (広島)
日本人はNBAで通用できるのか	池本	藤原 武志	可部 (広島)
新球場を赤く染める	澤田	吉川 由馬	湯来南 (広島)

## 自動車廃オイル・不凍液の高温ガス化

工学部

## — 産業クラスター構想の中で —

バイオ・リサイクル学科 遠藤 敏郎

経済産業省、地方の産業局が中心になって進めている「産業クラスター」構想は、これまで言われてきた産学官連携とは異なった意味合いと枠組みを持つ。広島県は「中国地域機械産業新生プロジェクト」と「循環型産業形成プロジェクト」を進めているが、これからも分かるとおり産業創生ということが色濃く反映されている。また、企業が開発等をする場合、大学或いは公設試験所等との「クラスター」を組まなければ助成金が補助されにくい。更に、大学が主体的に産業に関わることが要請されているが、ここには二つの意味合いがあると考えている。一つは、よく言われる大学の高い知力の提供であるが、もう一つは、学生を含む人材の提供である。特に中小企業は、技術を開発したとしても、その実証試験までを進める余力を持たない。

実証試験は、多くの場合、人海戦術に近い形のデータ収集を求められる。ここに学生を参加させることは、学生にとって現場技術に触れる最もよい機会であり、典型的な実務教育でもある。この意味で産業クラスター構想は補助金確保という面ばかりではなく、大学或いは大学教育の新しい手法を模索する手がかりを与えてくれる。本学の「地域共同教育研究センター」の現在の動きを、組織を含め、より強固にすることも必要であろう。本学バイオ・リサイクル学科が進めている学生参加型の「エコヤード構想」には、こうした新しい展開を模索する意図が含まれており、幾つかの実証試験並びに技術開発が展開されている。

広島県が進める「循環型産業形成プロジェクト」との関連で、昨年「広島循環型社会推進機構」が組織され、本学から筆者と渡邊真彦講師が理事として参加している。ここに我々が提案した事業計画の内、「多孔質鉄鋼スラグ塊への微生物固定と海環境改善」と「自動車廃オイルと廃冷却水の高温ガス化による燃料ガス生成」に、機構よりそれぞれ、約140万円と150万円の予算をつけていただいた。

「廃オイル等の高温ガス化」はLEEA(広島使用済自動車適正処理事業協同組合)との連携であるが、「多孔質セラミックス生成」に当っては、大阪産業大学の学内企業である(株)OSU山田修教授と、焼合成技術の応用研究ということで共同研究を組ませていただいている。高温ガス化手法そのものは新しい考え方でもないが、この応用に当っては開発すべき多くの技術が残っている。

本事業では、自動車廃オイル・不凍液を高温水蒸気と共に800～1,000℃に加熱し、水性反応を利用して最終的には水素燃料に変換することを目指している。原理的には可能であっても、高温水蒸気中での材料ということになると材料開発を含め解決しなければならない課題は多い。写真に示したように、このシステムは一応の完成をみせている。本学でこの高温ガス化手法を確立し、バイオマス、プラスチック等の高温ガス化、更には水素燃料生成以外に、ガスエンジン等を用いたエネルギー生産という方向に発展することを願っている。先日も本学の佐々木健教授とある地元企業を訪問した。バイオマスとガスエンジンを組み合わせた新しいエネルギーシステムの開発を進めることになり、学生参加型の格好のテーマと自負している。



過熱水蒸気式リサイクルシステム



# 情報学部

# IT社会の可能性を探る

— 体験学習 —

2005年12月15日、本学の情報工学科2年生55名が授業科目「情報課題実習」の一環として、広島エルピーダメモリ(株)を見学した。ここは、300ミリウエハDRAMを月産5万4千枚製造することができる国内最大規模のDRAM工場である。この数値は世界最大級の規模でもある。世界最先端の技術にふれる貴重なチャンスとなった。

見学当日は、マイクロバスと電車に分乗して訪問した。まず学生たちが驚いたのは、工場の設備が最先端技術のため一切写真撮影できないことだった。世界を相手にしのぎを削る現場であることを実感した。工場内は学生の予想を超える自動化が進められており、作業員の少なさに驚かされていた。この省力化を実現していたのが、廊下を縦横無尽に走るロボットと、天井を自動的に走り機器を運搬するモノレールであった。その他にも長さ500メートルに及ぶ工場ライン、巨大なクリーンルーム、環境に配慮した生産設備など、驚くことばかりであった。

この見学の後で提出されたレポートを読むと、単なる設備に対する驚きだけでなく、世界を相手に先端技術で勝負を挑む現場の厳しさも感じ取ってくれたようである。参加した学生たちにとって、非常に有意義な見学会であった。



広島エルピーダメモリ到着  
ここからは写真撮影禁止

広島エルピーダメモリ見学会

情報工学科

創造的感性と表現力の獲得を目指して  
広島市現代美術館での体験学習  
情報デザイン学科



展示会チラシ

情報デザイン学科では、デザインを志す学生に必要な創造的感性と幅広い表現力の獲得を目的として、美術館での体験学習を行っている。12月15日(木)、その第2回目として広島市現代美術館で開催の「転換期の作法—ポーランド、チェコ、スロヴァキア、ハンガリーの現代美術」を見学、2年生32名が参加した。

今回は、一般に「難しい」と思われがちな現代美術の展示会だったが、学生達はこちらが想像した以上に楽しく鑑賞していた。特に人気があったのが、ラクネル・アンタルの「INERS」シリーズの作品である。これは、鑑賞者が宇宙服のような重いスーツを着たり、様々な道具を動かしたりしながら、不思議な感覚を体験するというものである。他に映像作品や音を使った作品などもあり、多様な美術表現の一端を知る良い機会となった。後日提出されたレポートからは、作品の表面的な面白さだけではなく、それによって何を表現しているのかを考えたり、自らの立場と比較して共感したりする学生の姿もうかがい知ることができた。

ただ、こうした思考のできる学生はまだまだ少ないのも事実である。そこで本学科ではこのような体験学習を通じて、これまで

アートやデザインに縁のなかった学生に、芸術的なものに接する機会を提供していきたいと考えている。そして彼らが様々な経験の中から少しずつ面白さを発見し、作り手としての表現力を身につけていってくれるよう願っている。



ラクネル・アンタル「INERS」シリーズより

# 学業・課外活動…張り切る学生たち

現代  
社会学部

第1回ホームカミングデー開催

現代社会学部 谷口 重徳



あたらし

2003年3月以降、現代社会学部も着実に多くの卒業生を送り出してきました。その中には、今でもたびたび私の研究室を訪れてくれたり、メール等をくれたりする卒業生たちがいます。そこでの話題の中心は、自分たちの近況報告とともに学生時代の友人のことで。卒業生の彼ら・彼女らは、以前の友人たちが今どうしているかが気になっているのでしょう。そこで、卒業生に大学の最新の様子を伝えたり、お互いの交流の場を提供したりすることを目的に「第1回現代社会学部ホームカミングデー」を企画しました。

2月18日(土)、まず立町キャンパスで午後4時30分から磯部卓三学部長による挨拶と新陸人前学部長による記念スピーチが行われ、出席した卒業生たちも先生方の話に懐かしそうに聴き入っていました。引き続き午後6時からメルパルク広島において懇親会が行なわれました。総勢40人余りの小さな会でしたが、卒業生を中心に教職員や在校生も加わり、終始なごやかで温かな雰囲気の中、お互いの近況や学生時代の思い出をつきることなく語り合っていました。はじめての企画ということもあり、連絡方法や準備に手間取ることも多かったのですが、同窓会をはじめ多くの方々のご支援により、無事に開催することができました。また、現代社会学部をご退職された教職員の方々からも多くのメッセージをいただきました。心より御礼を申し上げます。



ゼミの発表会。中央が筆者

## ゼミで学んでいること

4年 若佐 紘美

私はマーケティングの迫先生のゼミに所属しています。昨年はゼミ活動の一環として、マツダ宇品工場見学、広島東洋カーブの松田オーナーとの懇談会、ブランドマップ作りを行いました。その中でも一番印象に残っているのは、松田オーナーとの交流です。昨年7月、『カーブを面白くするにはどうすればいいか』という題でゼミのみんなとディスカッションし、出された案を模造紙に書き込み、まとめたものを松田オーナーに提出させていただきました。これがきっかけで、10月に立町キャンパスでオーナーとの懇談会が開かれ、私は夏休みに行ったシアトルのセイフコフィールドと広島市民球場を比較し、ステップが広く手すりつきでハイヒールでも歩ける階段や、広くてきれいなお手洗いも備えた女性に優しい球場を提案しました。

この貴重な体験を通して自ら進んで発言することの大切さに気づき、視野を広げることができました。今後の就職活動にも役立てていきたいと思っています。

現社祭クリスマス会

3年 内田 稚子・二宮 綾子

学生によるイベントである現社祭の一環として、クリスマス会が12月7日に開催されました。10月の現社祭で行った模擬店が好評で、学生のなかからもう一度模擬店を出して楽しみたいという提案があったためです。急な提案だったため、昼休みと4コマ目終了後の2回に分けて実施。昼は模擬店を中心に、夕方はイルミネーション観賞と宝探しゲームが行われました。

模擬店では焼きそばやチヂミ、豚汁、おでんなどが出店。職員の皆さんも準備を手伝っていただきました。当日の模擬店は大勢の人が集まり、買い求めています。中には何回も買いに来てくれる学生もいて、その場は和やかな雰囲気となっていました。また夕方には10名限定ながら宝探しも行われ、懐かしさも盛り上がりしていました。



模擬店

卒業生の協力もあり、ミニ・クリスマスツリーとキャンドルを持ってきていただきました。キャンパスが華やかに彩られ、少し早めのクリスマスを楽しむことができました。

ある実行委員は「人が集まるか不安だったが、たくさん来てくれてよかった。これからも現社祭を盛り上げていきたい。そのためにも委員を増やしていきたい」と語ってくれました。



中庭のイルミネーション  
ロビー脇にはキャンドルも



原油価格の高騰に伴う自動車用燃料の値上がりは家計にも影響を及ぼしつつある。地球環境保護のためにも燃料効率の向上は世界的な課題とされている。そんな中、昨年11月に広島ホームテレビのニュース番組「Jステーション」で『車の燃費が向上する究極運転技術&実証実験』を放映、本学の越智助教授も取材を受けた。番組で述べた概要を示す。

### 燃費向上の七箇条

(1)暖機運転は短めに

最近の車はほとんど暖機しなくても大丈夫。

(2)荒っぽい運転や空吹かしは無駄

急発進や急加速、空吹かしは燃費の無駄になるばかりか、自動車の全てに悪影響を及ぼす。また、定地走行時は出来るだけアクセル・ペダルを一定に保ち、むやみに踏んだり離したりしないこと。

(3)減速時はエンジン・ブレーキ

下り坂などではエンジン・ブレーキを活用する。最近の車(電子制御燃料噴射)は、ほとんどエンジン・ブレーキ中は燃料をカットする構造となっている。

(4)空気圧を規定値より少し高めに

空気圧を上げすぎるとタイヤのグリップ力や乗り心地が悪くなるが、規定値の10～20%くらいなら問題ない。

(5)アイドリング・ストップの励行

一般に大衆車で1時間1リットルのガソリンを消費する。地球環境の観点からも是非実行を。

(6)エアコン(A/C)を上手に使う

エアコンのスイッチを入れるとコンプレッサが作動する。車種によるが4～5馬力は損失すると思われるので、A/Cの運転は極力控えて。

(7)余分な荷物は積まない

車体重量は軽いほど燃費も加速性能も向上する。



実験風景

## 会社説明会

### いよいよ就職活動スタート!

来春の卒業予定生を対象とした「会社説明会」が2月1日から3日間短大部で実施された。主にメーカー系列ディーラや車体整備など55社がそれぞれの会社概要、社員教育、入社時の待遇など、ビデオ、DVD、パワーポイントなど文明の利器を駆使して説明された。

採用担当の講話で、「自動車は物流経済や国民生活に必要不可欠となり、それを支える自動車整備は、将来に向けて無くなることはなく企業の要です。優秀な整備士を我が社に…」との心強い言葉を学生に贈られていたのが印象的だった。

1年生もほとんどがスーツに身を固め熱心に耳を傾け、胸に希望を膨らませたことだろう。卒業まで1年有余あるが、学生の就職戦線は早くもスタートを切った。



## 保護者懇談会

### 確実な進路の実績踏まえた「教育・指導」をモットーに

1年生を対象とした保護者懇談会を2月18日(土)開催した。例年に比べ参加者が多く、延べにして70名の方が早朝から来校、本学に対する期待の大きさが垣間見られた。

来春卒業予定学生の就職活動(就職試験)がスタートを切って半月が経過し、学生の「進路」や「学内・家庭生活」など、保護者からの相談や意見を個別懇談でじっくり話し、将来に向けての真剣な情報交換を行った。

全体会では短大部の進路状況、進級関連、しつけ教育やわかりやすい教育を実践していることなどについて説明された。今後も企業が求める人材や卒業生からの意見・要望を取り入れ、教育に一層磨きをかけて行くので、保護者の方も一安心されたことと思う。



### 3年ぶり開催 校内マラソン大会 2月19日(日)



トップ集団？(1学年男子)

本校の若き韋駄天たちが待ちに待った校内マラソン大会を、坂町森山ジョギングコース(男子9km 女子4.5km)で好天のもと開催した。一昨年、昨年と2年連続で雨にたたられ、中止を余儀なくされた経緯があるだけに、主催する生徒会・体育科はやきもきしながらこの日を迎えた。

立春はとっくに過ぎたとはいえ午前中は厳しい冷え込みで、気温は7～8度の中でのレースであった。当日は坂町漁協のかき祭とも重なったため、マラソンコースの一部が交通渋滞となり、一時は中止あるいはコース変更を考える必要に迫られた。

なんとか実施したいという思いが通じてほぼ予定通り開始。

9時30分から開会式を行い、10時10分、校長のスタート合図(号砲)とともに2学年男子から順次スタートしていった。1・2学年男女合わせて900名が参加し、途中で体調不良を訴えた1名を除きすべて完走、事故もなく終えることができた。

閉会式を終え、走り抜いた満足感に浸りながら、生徒たちは会場として借用した坂中学グラウンドをあとにした。



頑張れ!! ゴール前の力走  
(2学年女子)

## 厳寒も善意あたたか 校内献血活動とパキスタン震災支援について

高校保健環境部 松本 領



只今から血液を採ります

2005年度、校内献血を1月17日・18日の両日実施した。折からの寒波の中、生徒、保護者、教職員計171名の献血協力を得た。

医学、科学の発達した現在でも血液を人工的に造ることは出来ない。多量の輸血を必要としている人にとって血液を得ることは大変なことである。本校生徒及び保護者、教職員の献血が血液を必要とする多くの方々の治療に役立てられることを願う。また、献血時の血液検査を通じて各自の健康管理にも役立てて欲しいものである。

一方、生徒保健委員会は、昨年のパキスタン震災に対して、文化祭等に義援金の協力を生徒、保護者、教職員に呼びかけてきた。そして、今回の献血のお礼に来校された日本赤十字社広島県支部の有座総務課長・角田ボランティア係長両氏に本校の善意の義援金を手渡した。

なお、この度の献血活動にご多忙中にも拘わらずお手伝いを頂いたPTA役員の多田様、河野様に感謝申し上げる次第である。

### 日本生物教育学会 論文賞 受賞

高校 理科 川上 敏行

先日、日本生物教育学会により論文賞をいただきました。今回の論文は大学院生の時に執筆したものでしたが、このような賞がいただけるとは思っていなかったというのが正直な気持ちです。

元々この研究は別の目的で行っていたのですが、偶然が重なって新しい発見となりました。このように、研究は狙い通りにできないことが多々あるものの、生物は合理性を持って生命現象を営んでいます。ここに生命の神秘があり、面白さがあると思います。この面白さを生徒に伝えることを目標に、これからも頑張りたいと思います。



川上先生

## 先生も生徒も頑張る!!

### 三浦 悠貴君 合格おめでとう! 第1種電気工事士



合格証書が輝いています

工業高校の電気科の生徒でも現役では容易に合格できない「第1種電気工事士」資格に総合システム科3年4組の三浦悠貴君(平成18年3月卒業)がこのたび見事合格した。本校でこの資格に現役合格したのは30年ぶりとのことで、まさに快挙である。「やればできる!」を見事実証してくれた三浦君、大学を卒業後、将来は宇宙飛行士を目指す。自分の力を信じてさらなる挑戦を続ける。



## 女子ゴルフ部 たゆまぬ努力●入賞に期待

広島国際学院高校女子ゴルフ部を紹介します。部員は6名いましたが、3年生が卒業したため、4名になりました。練習施設においては、以前からの打撃練習場に加えて、新たに練習グリーンも2月1日に新設しました。本校のゴルフ部は創立20年になりますが、ほとんどの生徒が高校入学からゴルフを始めます。しかし、たゆまぬ練習の結果、現在では中国5県でも上位に位置づくよう



新設したグリーンでバター練習

になり、昨年国体選手2名が誕生し、活躍しました。岡山国体の選手になった岡田加奈恵も本校入学後クラブを握り始めた生徒です。2年前からは経験者も入学してくるようになり、現在中国地方でトップクラスの生徒が席をおいています。卒業後はプロ試験にチャレンジしたいと毎日猛練習に励んでいます。

クラブの実績においては、昨年度広島県大会において、個人の部で法崎佳奈子(1学年)が優勝、3位に石島美織(2学年)、岡田加奈恵(3学年)、団体の部で4年連続優勝と輝かしい成果をあげています。また、中国大会では団体2位となりました。昨年テレビ、雑誌に取り上げられ注目されましたが、今後もまた頑張りますので、ご期待ください。



国体広島県選手

顧問 橋田 源太郎

## 高大連携

### 普通科 おもしろ技術体験講座(総合的学習・2単位)

普通科2学年の一般コースでは、週2時間、生徒自身が選択して受講する総合的学習講座を30年近く開講してきた。'05年度はハンゲル講座・英会話・インターネット・陶芸・エアロビクス・茶道・書道・美術・音楽(楽器演奏)・おもしろ技術体験・家庭一般(調理実習)の11講座を開講した。

特に「おもしろ技術体験講座」は広島国際学院大学の工学部と情報学部との先生方が取り組まれたユニークな講座である。アニメーションの作成・デジタル音楽の制作・ミニカー(ゼロハンカー)の作製と試乗・ヒトのDNAの回収・カップ麺と瀬野川の水の塩素濃度の測定・遺伝子組み換え技術・酒パン 食品と名水、などテーマは16であった。講座の性格上、理系の生徒のみに開講された。受講者が広島国際学院大学に進学した場合には所定の単位を履修したものとカウントされるのでお得な講座といえる。「高校生にわかりやすく楽しく」を目指された授業であったので、大方の評判は良かった。

#### 生徒たちの声

自分で戦闘機をつくって動かしたCGアニメーションは、印象深かった  
大学からわざわざたくさんの機械を持ってきて下さった先生もいた。少し話が難しいときもあったが、興味を持てるように熱心に話をしてくださった  
パソコンで音楽をつくるのは少し難しかったが、さまざまな音をつくることのできたので有意義だった  
先生がなるべく分かりやすく説明してくれた。いろいろな機械を使う授業は楽しかった。講義形式の授業もあって、大学の授業はこんな感じなのかも思った

### 総合システム科 大学体験入学

★ 今回初めての試みとして、総合システム科理数コース2年生を対象に大学の講義を体験学習させた。目的は、大学への興味関心を引き起こし、3年次の進路選択に役立てることである。この計画は昨年、総合システム科の会議において決定され、広島国際学院大学の協力を得て11月と12月の2回にわたって実施した。

★ 生徒たちは理数コースの進路目標である工学部と情報学部の10講座の中からそれぞれ6講座を選択して受講した。最新の設備と、創意工夫された講義内容は多くの生徒たちに多大な興味を呼び起こし、初めは緊張気味であった生徒たちも徐々にうち解けていき、質問も出るようになっていった。昼食時には2日間とも学生食堂で昼食をご馳走になり、生徒たちはリラックスした笑顔を覗かせた。

★ ある生徒は「実際に授業を受けてみると90分の授業は思ったほど長くはなく、新たな世界が見えて勉強したいという気持ちが湧いてきた。」と感想を書いていた。生徒それぞれの感じ方は違うにせよ、大学の授業の特徴や雰囲気などを少しは掴んでくれたように思う。生徒達がこの体験を通して自らの進路決定に役立ててくれることを願っている。

★ ご協力頂いた広島国際学院大学の諸先生方に心より感謝申しあげたい。



ロボットを作ろう!

## 未来への旅立ち 卒業生454人

3月1日、高校第57回卒業証書授与式が挙行された。前日の夜からの雨が降り続く中、卒業生の保護者が続々と体育館に集結され、教職員を含めた全員の大きな拍手で、担任教師を先頭に入場した454人の卒業生を迎え入れた。

卒業証書授与、皆勤賞授与(29人)、学校長式辞、祝辞(理事長)、在校生送辞、卒業生答辞へと滞りなく進行し、厳粛なうちに閉式を迎えた。その後、吹奏楽部の演奏に送られながら卒業生たちは胸を張って体育館を後にし、それぞれのクラスに入り最後のホームルームを行った。



おめでとう!! 卒業証書授与

# 本学院学生生徒の活躍 — 栄光を称える —



優勝した軟式野球同好会員。  
賞状を手をしているのが筆者

## 主将を続けてよかった！チーム一丸で全国優勝

軟式野球同好会主将 工学部 機械工学科4年 <sup>かわうえ</sup>河上 慶典

僕にとって全国大会で優勝できたことは大学生活の中で一番の思い出になると思います。そして何より軟式野球同好会は自分を大きく成長させてくれた場所でした。2年の春から主将を任されて、主将なんてやったこともなかった僕は「やってやるぞ」と気持ちばかり焦ってしまい、チームをうまくまとめることができずにいました。苦しんでいるのは自分だけだと考えた時期もありました。しかし、チームメイトの励ましによって僕は「一人でやっているのではない、自分にはみんなが付いている」と気づきました。チーム全員が一つになったから全国優勝ができたし、みんなの支えがあったから主将を最後まで続けてこられたのです。今では主将をやって本当によかったと思います。この3年間の経験は自分を大きく成長させてくれ、素晴らしい仲間とも出会え、とても充実した3年間でした。この経験を生かしてこれからの人生に役立てていきたいと思っています。

※軟式野球同好会は、平成18年度から軟式野球部に昇格

## 【大学】平成17年度部活動成績

サークル名	受賞者	出場大会名	成績
軟式野球	団体	第28回全日本大学学生軟式野球選手権大会	優勝
アーチェリー	瀬尾聡裕(3年)	第35回中国四国学生アーチェリー王座決定戦	1位
	出本敬明(1年)		7位
	小林祐樹(3年)	第17回中国四国学生アーチェリーフィールド競技会	6位
	瀬尾聡裕(3年)	第42回全日本学生アーチェリー東西対抗戦	4位
	出本敬明(1年)	第35回中国四国学生アーチェリー個人選手権大会決勝	1位
	瀬尾聡裕(3年)		2位
	瀬尾聡裕(3年)	平成17年度中国地区アーチェリー選手権大会	1位
	瀬尾聡裕(3年)	第47回全日本ターゲットアーチェリー選手権大会	5位
	出本敬明(1年)	第35回中国四国学生室内アーチェリー新人選手権大会	1位
	松村卓浩(1年)		2位
	伊藤慎吾(1年)		6位
ゴルフ	出本敬明(1年)	第10回中国四国学生室内アーチェリー個人選手権大会	1位
	瀬尾聡裕(3年)		6位
ゴルフ	向井勇気(1年)	第28回中四国学生ゴルフ連盟杯争奪戦	8位タイ
	向井勇気(1年)	第26回中四国学生ゴルフ新人戦	8位

## 【高校】平成17年度理事長表彰受賞者・部活動成績優秀者

部名	個人・団体別	受賞者	出場大会名	成績
柔道	男子100kg級	登里弘幸(3年)	第52回中国高等学校柔道大会	4位
	女子52kg級	小林 瞳(3年)		5位
レスリング	少年男子120kg級	登里弘幸(3年)	第60回国民体育大会秋季大会	5位
	個人66kg級	平山 徹(3年)	第44回中国高等学校レスリング選手権大会	3位
	個人74kg級	沖本直人(1年)	第21回中国高等学校選抜レスリング大会	3位
自転車	団体ロードレース	団体	第40回中国地域自転車道路競走大会	2位
	個人ロードレース	中村弦太(3年)		優勝
		細川康裕(3年)	8位	
	個人トラックレース	中村弦太(3年)	第37回中国地域高等学校対抗自転車競技選手権大会	3位
細川康裕(3年)		3位		
ゴルフ	団体女子の部	団体女子の部	第22回中国高等学校ゴルフ選手権大会	2位
	個人女子の部	法崎佳成子(1年)	第23回中国ジュニアゴルフ選手権・新人戦	3位
吹奏楽	団体 吹奏楽の部		第7回全日本高等学校吹奏楽大会 in 横浜	連盟理事長賞
	団体 吹奏楽の部	高校の部	第46回全日本吹奏楽コンクール中国大会	金賞



留学生の声

時間は将来への投資、積極的に挑戦を

工学部 バイオ・リサイクル学科2年 韓 晶

私は中国の大連から日本へ来ました。中国の専門学校を卒業してから、大連生物有限会社という日系企業に就職し、2年間社員として働いていました。しかし、専門的な分野の知識不足を感じ、私は日本でバイオ・リサイクル学科に入学することを決めました。

時間があっという間に流れ、もう春になりました。私が日本に来て3回目の春です。最初に日本に来た時の気持ちは今でも忘れることができず、全て昨日の出来事のように目の前に浮かんで来ます。家族と離れて遠く日本に来た時、何でも自分でやらなければならないから、いろいろ大変でした。しかし、知らないことは何でも日本語学校の先生に相談でき、質問にも答えてくれました。おかげで私の日本語もどんどん進歩しました。心から感謝しています。

大学に入学してすでに1年すぎになりましたが、入ったばかりの時は講義について行けるか、履修はどの様にすればいいのか、日本の学生達と仲良くできるかなど、毎日不安で一杯でした。しかし、一ヶ月ぐらいたってから、自分のそんな様々な不安や心配は余計なものだったと感じました。バイオ・リサイクル学科にはチューターの制度があり、少数グループに分かれてアドバイスを受けられるため、不安も消えました。今では日本の友達も増えて、チューターの仲間とバイオ・リサイクルの学習を深めています。

大学生には自由に使える時間がたくさんあります。その時間をどれくらい自分の将来に役立つことに当てられるかが、大学生活を決定するような気がします。今しかできないことをたくさん体験し、様々なことに積極的に挑戦して、充実した大学生活を送りたいと思います。



私が大学に入学して1年、親元を離れてから1年、そして一人暮らしを始めてからの長いようで短かった1年が過ぎました。電車に一人で乗ったこともなく、お弁当もそんなに作ったこともない私が一人暮らしをするとは思いませんでした。

入学式の前日から3、4日間は母と一緒に生活してくれ、お弁当まで作ってくれたものの、母が帰ると同時に本格的な一人暮らしが始まりました。勉強に加え洗濯・料理・買い物と毎日こなすのは大変です。

私は高校の頃から社会福祉士になることを目指していて、大学に入り福祉の講義を受けることは、私が自分の夢に向かって歩み始めていると感じ、とても嬉しいことでした。

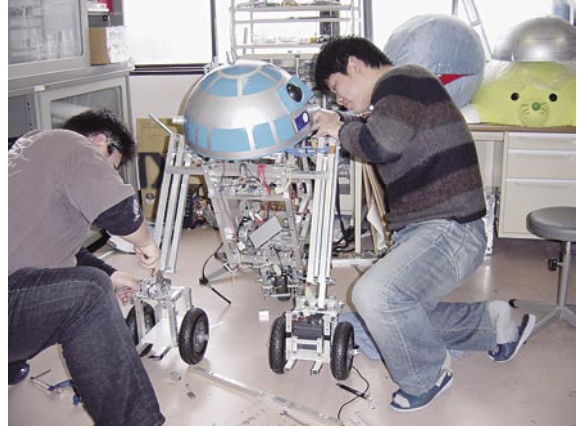
広島では勉強に励んでいるかたわら、私は地元で小学生の頃からカヌーをしているので、ほぼ毎週実家へ帰っては土日を練習についやしています。昨年のゴールデンウィークは合宿と大会、夏休みの8月には毎週土日に国体会場であった岡山へ合宿に行くなど忙しい休みを送りました。9月には国体にも出場しましたが、経験が浅いために思うような良い結果を出すことができませんでした。次の大会には是非入賞できるよう、これからも日々鍛練を続けて頑張りたいと思っています。

大学に入ってから楽しかったこと、辛かったこと、苦しかったことを沢山経験し、世界観が広がって自分がすごく変わったように感じます。今まで親には話せなかったことも今では話せるようになりました。今年も楽しい年であってほしいです。

私の大学生活 カヌーで国体出場、社会福祉士の夢もめがけ力漕

現代社会学部 2年 大平 みさと

数年前、光ジャイロを内蔵した走行ロボットを作り、産経新聞に掲載されました。昨年度は、学生達からの強い要望もあり、再びロボット製作に挑戦してみようと思い、3台の走行ロボットを作りました。2台は映画「スター・ウォーズ」の中に登場する「R2-D2ロボット」、残り1台は「ドラえもんロボット」です。学生達がたいへん頑張ってくれたのでとても立派なものできました。電気電子工学フェアやクリスマスフェアに立町キャンパスで実演したところ、子供たちも寄ってきて結構人気者になりました。私の研究室には何故かやる気のある優秀な学生が集まり、いつも感謝しています。



ロボットの動力は車のバッテリーを使用し、モーターはパワーウィンドウ用の強力なものを使っております。また、それらの制御は数個のマイクロプロセッサ(PICマイコン)で行い、完全自立制御機能を備えています。さらに距離センサー、超音波センサー、タッチセンサー等を取り付け、無線でも操縦できるよう工夫されています。

今年度は、ゾイド型の大型4つ足ロボットに挑戦しております。学生が楽しみながら作るロボット、高校生にアピールできるようなロボット、子供たちが寄ってくるような楽しいロボットなどの製作を目指しています。

蛇足ですが、私の専門は確率過程論(Ph.D. from Columbia University)と相対論的量子論(広島大学から理学博士)です。最近では少し本来の研究から遠ざかっており残念にも思いますが、もう少しロボット作りを続けてみましょう。

## 工学部 電気電子工学科

まつ お くに あき  
松 尾 邦 昭 研究室

### 走行ロボットの製作

## 情報学部 情報工学科

カリン・バラック 研究室

### e-learningシステムによる英語教育

私の研究は、英語学習を日本人学生にとって楽しく、意味のあるものにするに関わっています。日本に住む学生にとっては、日常生活で英語に出会ったり、英語を使用したりする機会がほとんどないことから、英語学習が難しくなります。ですが今のテクノロジーによって、学生達が英語に触れることは、ずっと簡単になってきています。



研究室にて

コンピューターやインターネット、DVDのようなメディアを含むテクノロジーは、学生達の学習を手助けするのに、ますます役に立つ道具になっています。昨年私の研究室で開発したe-learningのシステムを使って、学生達は教室の外でも英語を学ぶことができました。そのe-learningシステムを使うと、学生達は英語を使ったビデオ教材を見たり、音声教材



を聞いたり、テキストを読んだりすることができます。また学生達は、英作文の練習をすることも、教師からすぐにフィードバックを得ることも可能です。このe-learningシステムを使うことで、コンピューターさえ持っていれば、英語を学習することが楽しく簡単になるということが、学生たちに分かってもらえればと願っています。



# の 紹 介 ● ● ●

私は、32年間、マツダで働きました。その間、クルマの広告をはじめ、ネーミング開発やブランドシンボル制定など、マーケティングに関するほとんどの分野を体験しました。この体験をベースに、いま「マーケティング論」「商品ブランド戦略」「国際ビジネス文化論」を担当しています。また、1年、3年、4年の各ゼミも担当しています。

マーケティング論については、少し誤解をしている人がいるように思います。例えば、ある商品の売り上げを伸ばすにはどうしたらいいのか、よくそのやり方を教えてほしいと言われます。マーケティング論は、数学や物理学とは異なります。1 + 1 = 2にはなりません。人の考え方(戦略)がベースとなりますから、やり方によっては、1 + 1 = 0になることもありますし、1 + 1 = 5になることもあります。また、いま正しくても、1年後に正しいとは限りません。すべてが相対的。これがマーケティングの面白さでもあり、難しさでもあります。そうすると、何よりも人間力を磨き、時代感覚を身につけることが大切になってきます。

いま多くの学生と接して感じることは、人それぞれに良い面があるということです。活発に話す人も、口数の少ない人もいます。しかし、それがどんな性格であっても、一人ひとり、必ず良い面を持っています。これを発見して、どんどん伸ばしていくこと。そして、もう一つ。決して、動く社会から目を離さないことです。私の研究室では、社会を観る窓口として、さまざまな可能性を育む、自由でアットホームな空間作りを目指しています。



マーケティング  
— その難しさと面白さ —

現代社会学部

さこ かつ のり  
迫 勝 則 研究室

## 大学と高校の大気による金属の表面腐食の研究

工学研究科 物質工学専攻 おか だ まさ かず  
岡 田 正 和

私の研究は、異なる大気状態や気象状態において純度の異なる金属を暴露した場合、どのような現象が現れるのかを調べることです。

このたび鳥取県立米子工業高等学校と協力して、大気による金属の表面腐食の研究を行いました。純金属を設置する場所は自動車の交通量が激しく大気汚染が進行していると考えられる大正交差点(安芸郡海田町)、山に囲まれ大気汚染が比較的少ないと考えられる本学(中野キャンパス)の瀬戸内地域。塩害や大陸からの大気汚染物質の越境汚染が考えられる米子工業高校(米子市博労町)の日本海沿岸地域で定点観測を行いました。また、米子工業高校は独自に米子地域で臨海部、市街地、大山の麓で定点観測を行いました。

その結果、大正交差点は自動車の巻き上げによる砂塵が、本学は気流によって他地域から飛来したSOxと海塩粒子が、米子工業高校は海風によって巻き上げられた砂塵と海塩粒子が多いことがわかりました。腐食の進み方は 米子工業高校>大正交差点>本学 の順であり、腐食を促進するものとしては海塩粒子と砂塵が影響を及ぼしていることがわかりました。

米子工業高校の研究では、腐食の進み方は 臨海部>市街地>大山麓 の順であることがわかりました。

高校と大学は研究における協力関係によって、米子地域と広島地域に特化した研究成果を共有し、新しい研究体系を切り開きました。

この様な成果は山陰地方の山陰中央新報と日本海新聞に掲載され、山陰中央テレビでも放映されました。



高校生と情報交換する筆者(左)



山陰中央新報(2005.12.21)



日本海新聞(2005.12.28)

平成17年度

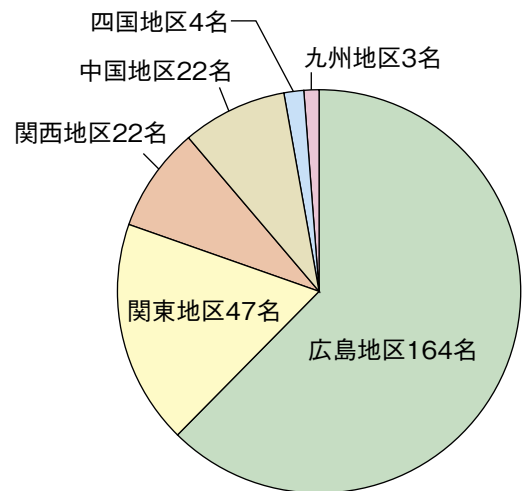
# 広島国際学院大学進路状況

平成18年3月18日現在

- ・ 厳しい国際競争のもとで企業が求める「目標達成能力」、「問題解決能力」のある人材の育成に努めています。
- ・ 従来から元気で実践力のある学生を育てており、実社会での活躍が評価され近年25倍以上の求人倍率を得て、高い就職率を達成しています。
- ・ 就職模擬試験をはじめ面接・作文の指導など、学生の就職状況を就職課と教員がきめ細かくサポートします。

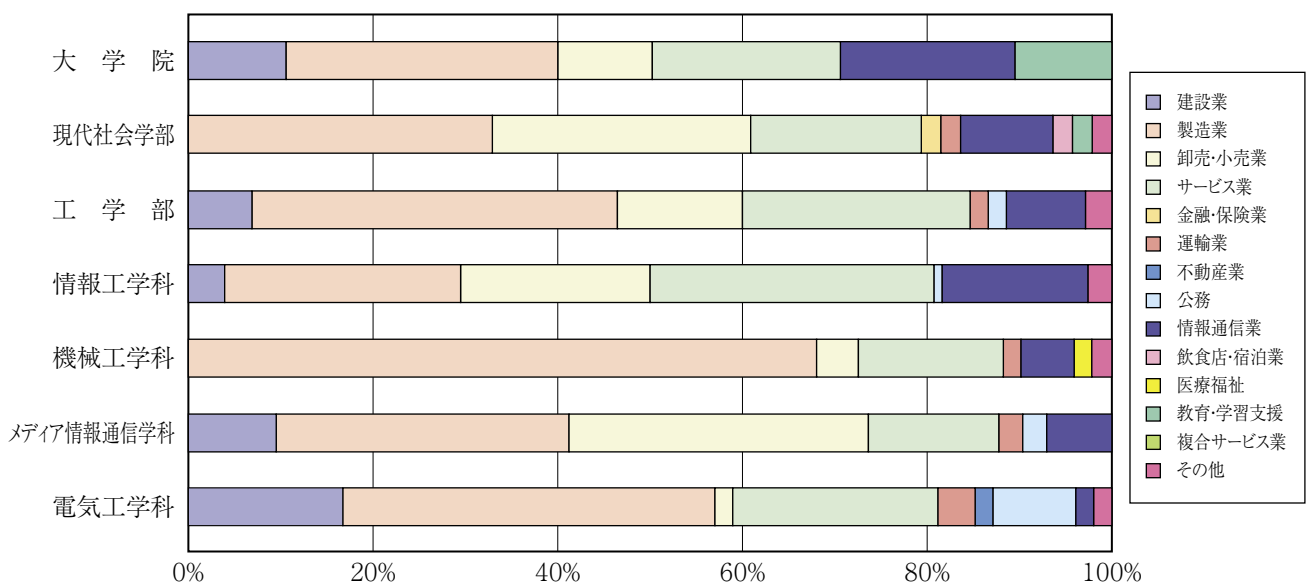
## 進路状況

項目	電気工学	情報通信	機械工学	情報工学	工学部計	現社部計	大学院	
卒業・修了者総数(人)	49	43	55	108	255	57	16	
就職希望者数(人)	47	39	50	87	223	49	13	
採用内定者数(人)	47	35	50	80	212	40	10	
就職率	100%	89.7%	100%	92.0%	95.1%	81.6%	76.9%	
就職率(前年度)	100%	94.9%	98.1%	96.3%	97.4%	83.2%	53.3%	
進学	1	0	3	6	10	1	3	
求人状況	会社数	1,617	1,514	1,610	1,496	1,693	1,232	525
	求人数	1,697	1,541	1,721	1,517	6,476	1,232	656
	求人倍率	36倍	40倍	34倍	17倍	29倍	25倍	41倍



地区別就職先

## 業種別就職状況





平成17年度

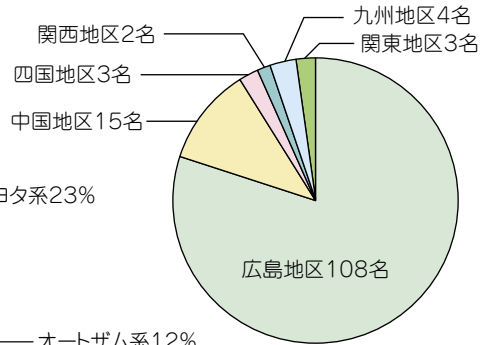
# 広島国際学院大学自動車短期大学部進路状況

平成18年3月18日現在

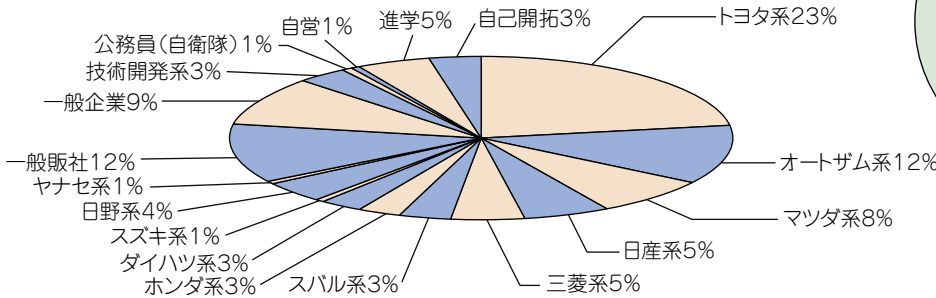
## 2004年度進路状況

卒業生数	147名
就職決定者/希望者	135名/135名
進学決定者/希望者	7名/ 8名
自己開拓	4名

## 地域別進路状況



## 卒業生の進路内訳



平成17年度

# 広島国際学院高等学校卒業生進路状況

平成18年3月18日現在

学 科	性別	在 籍	進 学				就 職					
			大 学	短 大	専 門	未 定	県 内	県 外	公務員	自 営	自 己	未 定
総合システム科	男	104	44	9	23	3	16	3	1	1	1	3
	女	35	5	4	13	4	6				2	1
普 通 科	男	139	92	3	17	12	7			1	2	5
	女	176	70	33	48	6	6	1			1	11
合 計		454	211	49	101	25	35	4	1	2	6	20
		%	85.0				15.0					

## 大学・短期大学 合格先

	大 学	短 期 大 学
中 四 国	島根大、高知大、県立広島大、山口県立大、広島国際学院大、エリザベト音大、呉大、比治山大、広島経済大、広島工業大、広島国際大、近畿大、広島修道大、広島女学院大、福山大、福山平成大、広島文教女子大、安田女子大、岡山理科大、吉備国際大、くらしき作陽大、東亜大、松山大	広島国際学院大自動車短大部、山陽女子短大、鈴峯女子短大、広島文化短大、比治山大短大部、安田女子短大、岩国短大、徳島文理大短大部
そ の 他	福岡教育大、北九州市立大、早稲田大、法政大、中央大、関東学院大、東京女子大、日本女子大、専修大、工学院大、ものつくり大、千葉工業大、嘉悦大、帝京大、神奈川大、名古屋商科大、びわこ成蹊スポーツ大、京都産業大、京都外国語大、京都学園大、大阪産業大、関西国際大、関西外国語大、大阪学院大、相愛大、神戸学院大、神戸芸術工科大、天理大、西南学院大、福岡大、西日本工業大、九州産業大、九州情報大、別府大、第一福祉大	京都文教短大、聖和大短大部、九州女子短大

## 専門学校 合格先

IGL医療専門、IGL健康福祉専門、穴吹デザイン専門、安佐准看護学院、エス・モードジャポン、大阪コミュニケーションアート専門、大阪社会体育専門、大阪スクールオブミュージック、大阪デザイナー専門、キャピタル国際福祉専門、国際医療福祉総合学院、駿台観光&外語専門、日本外国語専門、日本カイロプラクティックドクター専門学院広島校、パンタンデザイン研究所、東放学園音響専門、広島アニマルケア専門、広島市立看護専門、広島YMCA健康福祉専門、広島県理美容美容専門、広島県立広島高等技術専門、広島工学院大学校、広島工業大学専門、広島高等歯科衛生士専門、広島コンピュータ専門、広島市医師会看護専門、広島歯科技術専門、広島情報専門、広島情報ビジネス専門、広島脳心調理師専門、広島製菓専門、広島電子専門、広島ビジネス専門、広島美容専門、福岡医療専門、福岡ECOコミュニケーション専門、文化服装学院、代々木アニメーション学院広島校、目白デザイン専門

## 主な就職先

キーレックス、ナガイバン、ジー・ピー・ダイキョー、西日本旅客鉄道、オフィス・ブラウンエイ、佐川急便呉店、双葉運輸、広島アルミニウム工業、広島エルピーダメモリ、マツダ、ヤマダ電機、はたのリハビリ整形外科、大野石油店、山陽空調工業、ダイハツ工業、ツルヤ靴店、エムズ、オンテックス中国支社、カワダ、伯和、河野ポディー製作所、ジョイプラザ、新明和工業、ミヤケスポーツ、東洋シート、マサヨシ、シティプラスティック、ワイテック

# おめでとう海田中学校!

## 第2回中学校軟式野球大会

12月10日・11日の両日、安芸地区12中学校の参加により、「第2回学校法人広島国際学院理事長杯中学校軟式野球大会」が開催された。

中学生球児たちが再び顔を揃えた開会式。前回優勝した坂中学校から優勝杯が返還された。理事長の挨拶に続いて瀬野川中学校の峯本啓太君が元気に選手宣誓、2日間にわたる熱戦の火蓋が切られた。

1・2回戦を勝ち進み準決勝に進出したのは海田西、海田、熊野東、矢野の各



見事な決勝戦で観客を魅了した海田・矢野両チーム

中学校。海田は接戦の末海田西に競り勝ち、矢野は熊野東を大差で破った。

矢野と海田による決勝戦は3回まで0-0で両者一步も譲らぬ展開に。4回表に矢野が2点を先制、沈黙を破った。しかし続く5回には海田が1点を返し、6回でさらに2点追加。鮮やかな逆転劇で勝利をもぎ取った。優勝杯を手にした海田ナインの笑顔は、曇り空の下でも明るく輝いていた。

選手のナイスプレーとグッドマナーは今大会も光った。グラウンド整備、審判、場内アナウンスなど大会運営を支えた大学硬式野球部員も、後輩球児の良き模範となっていた。



息詰まる展開

参加中学校(五十音順)【ご協力くださった中学校関係各位に厚くお礼を申し上げます】

阿戸中学校、海田中学校、海田西中学校、熊野中学校、熊野東中学校、坂中学校、瀬野川中学校、瀬野川東中学校、府中中学校、府中緑ヶ丘中学校、船越中学校、矢野中学校

※中学校軟式野球大会の試合結果などはホームページでご覧になれます。

[http://office.hkg.ac.jp/~kikaku/junior\\_fair/05/](http://office.hkg.ac.jp/~kikaku/junior_fair/05/)



優勝おめでとう!

### 学生時代の思い出と社会人になって思うこと

## 何事もやればできる!営業コンテストで勝ち取った優勝

現代社会学科 平成14年卒 みぞぐち たかし 溝口 崇志



卒業から3年が経ちました。私が入学した時はちょうど校名が変わり、文系の現代社会学部、現代社会学科が新設され上瀬野キャンパスも完成したばかりで、すべてが新しい気持ちだったと覚えています。もちろん私たちがこの学部の第一期生なわけですから、入学当時は先輩も後輩もない中でのスタートでした。

新しい仲間や友達とも出会い、大変有意義な毎日でした。思い出がありすぎて迷いますが、あえて一番を挙げれば卒業論文です。夜中まで学校に残り、ゼミの仲間たちと何度も議論を重ねました。先生が首を縦に振ってくれた時の喜びは今でも忘れられません。困難にぶつかるとすぐ諦めてしまっていた私が、ここまでできたのもみんなの協力あってこそだと思います。自信も付いたし、何よりたくさんの人に支えられて成長できました。

大学を卒業した後、マツダオートザム海田に就職しました。今年で入社4年目、営業に携わっています。この会社は全国的にも優秀で、来店されるお客様も多く多忙な日々を送っています。また、営業という仕事は大勢の人と出会い、話をする機会も多く、常に新しい情報が飛び交っていますから、日々自分にプラスになることばかりです。

入社当初はまだ何もわからず、ただがむしゃらに車を売っていたことを覚えています。それでも運良く入社1年目に新人賞を頂きました。2年目になると仕事にも少しずつ慣れ、銅バッチ賞を頂くことになり2年連続で東京での表彰式に招待されました。また、3年目には全国ウォークアラウンドコンテスト(営業のコンテスト)の中四国大会で第1位になり、全国大会に出場することができて、非常な自信を持ってました。学生時代にこんな自分など想像できたでしょうか。こうして社会人になって考えてみると「何事もやればできる」、大学生活で学んできたことが少しずつ自信に繋がってきているような気がします。現状に満足することなく、これからももっといろいろなことに挑戦していきたいと思っています。

この広報誌はホームページでご覧になれます。

<http://office.hkg.ac.jp/~kikaku/kouhou/>